



環境情報WG活動

(Environmental Life Cycle Information Working Group)

March 7, 2006



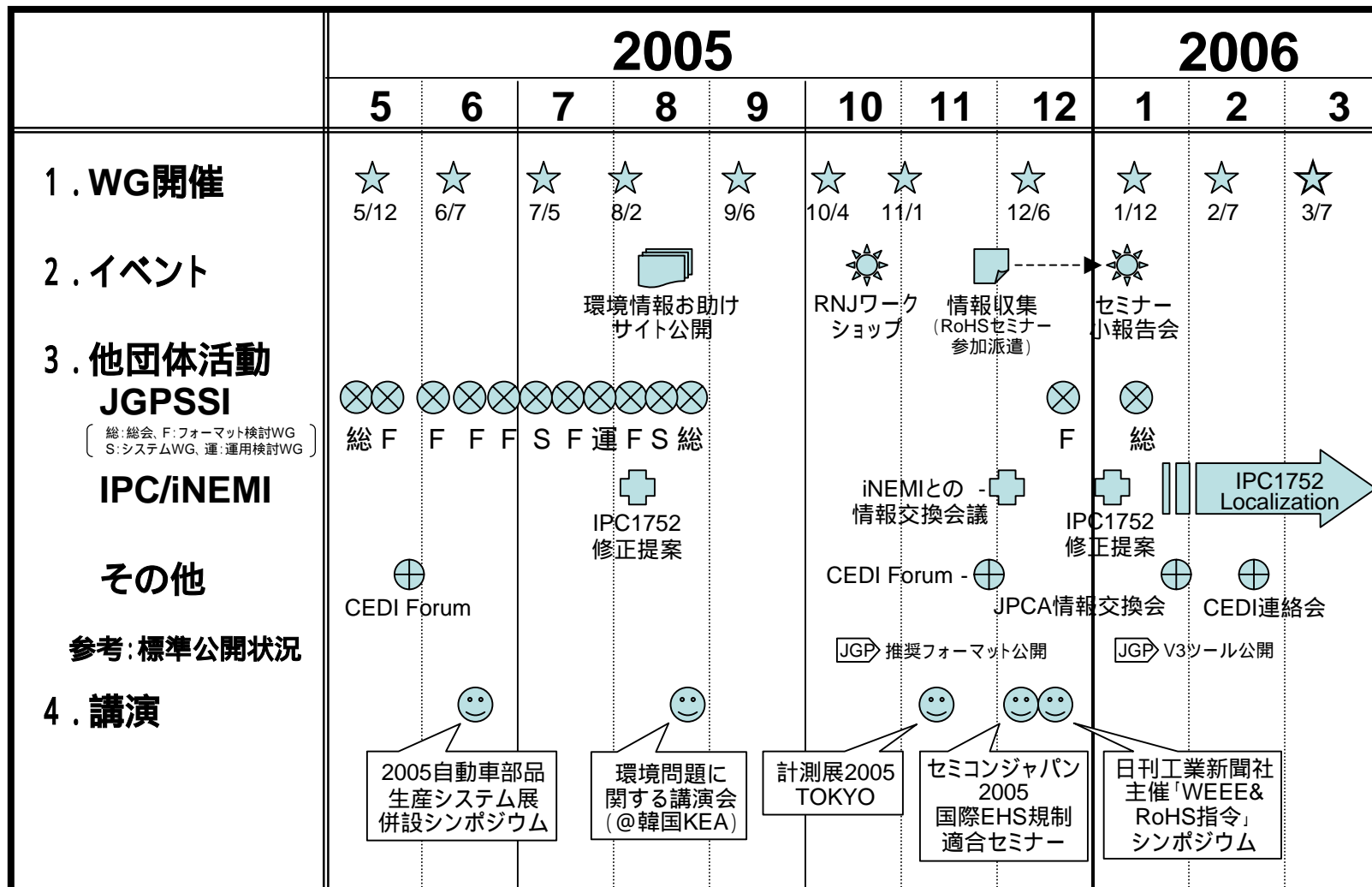
目次

環境情報WG活動

- 1 . 2005年度活動報告
- 2 . 2006年度活動計画
- 3 . // (補足)
- 4 . 2005年度成果と2006年度計画まとめ
- 5 . 参考資料

1. 2005年度活動報告

(1) 一年間の活動経過





1. 2005年度活動報告

(2) 2005年度の活動成果

1. 実装プロモーション

- PIP2A13 / 2A15構造解析
- 各種データモデル比較
IEC/PAS、JIG、JGPSSI(V3)、ECALGA、IPC1752、
RosettaNet(PIP2A10V2, PIP2A13)、IMDS、MSDS 等
環境情報ワークショップにて発表
- IPC1752ローカライズ着手
iNEMI/IPCよりRNJに日本語化の要請あり、検討開始
PIP実装予定未達
バイヤの情報取得スケジュール遅延が伸び悩みの原因

2. コンプライアンス

- 国内外の法規制・国際標準化動向調査
WG内の情報共有だけでなく、WG外に対しても、環境情報
ワークショップやセミナー報告会にて発表
- DTIガイダンスノート和訳
DTI(英国貿易産業省)の許可のもと、和訳。Ver.1.03としてリリース
環境情報お助けサイトに掲載



1. 2005年度活動報告

(3) 2005年度の活動成果

3. 他団体との協調

- IPCに対するIPC1752ドラフト版修正提案
IPC1752ドラフト版の修正案をIPCに提出
32/34項目がAcceptされ、投票版に盛り込まれる
- JGPSSI加盟並びにWGへの参画
JGPSSIに4月より加盟し、フォーマット検討WG、システムWGに参画
- 他団体との情報交換(iNEMI 等)
iNEMIのMCD PJリーダーのRichard Kubin氏(e2open)と情報交換会。CEDI, JPCA, 韓国KEAとも情報交換実施。他、DTIにも人脈を形成。
- CEDI, JEMIMAのコアリションパートナー化

4. 情報発信

- ワークショップ(10/25)、小報告会(1/12)開催
ワークショップ:48名、小報告会:30名 (ともに盛況)
- セミナー講演(5回)
自動車部品生産システム展併設セミナー(6/17),
韓国MOCIE&KEA主催セミナー(8/26), 計測展2005(11/10),
セミコンジャパン2005(12/8), 日刊工業新聞社主催セミナー(12/14)
- 「環境情報お助けサイト」開設



2. 2006年度活動計画

(1) 2006年度の活動スコープ

1. 実装プロモーション

- PIP実装拡大(目標30社)
- 実装ガイドライン作成
- IPC1752日本語版リリース
- データモデル検討

2. コンプライアンス

- 国内外の法規制調査(EuP、REACH等)
- 国際標準化動向調査(IEC/TC111他)

3. 他団体との協調

- JGPSSI、iNEMI/IPC等との連携
- 川上～川下業界との情報交換(サプライチェーン拡大)

4. 情報発信

- ワークショップ企画
- セミナー講演
- プレスリリース(ex. IPC1752日本語版リリースに関する)
- 「環境情報お助けサイト」のコンテンツ拡充





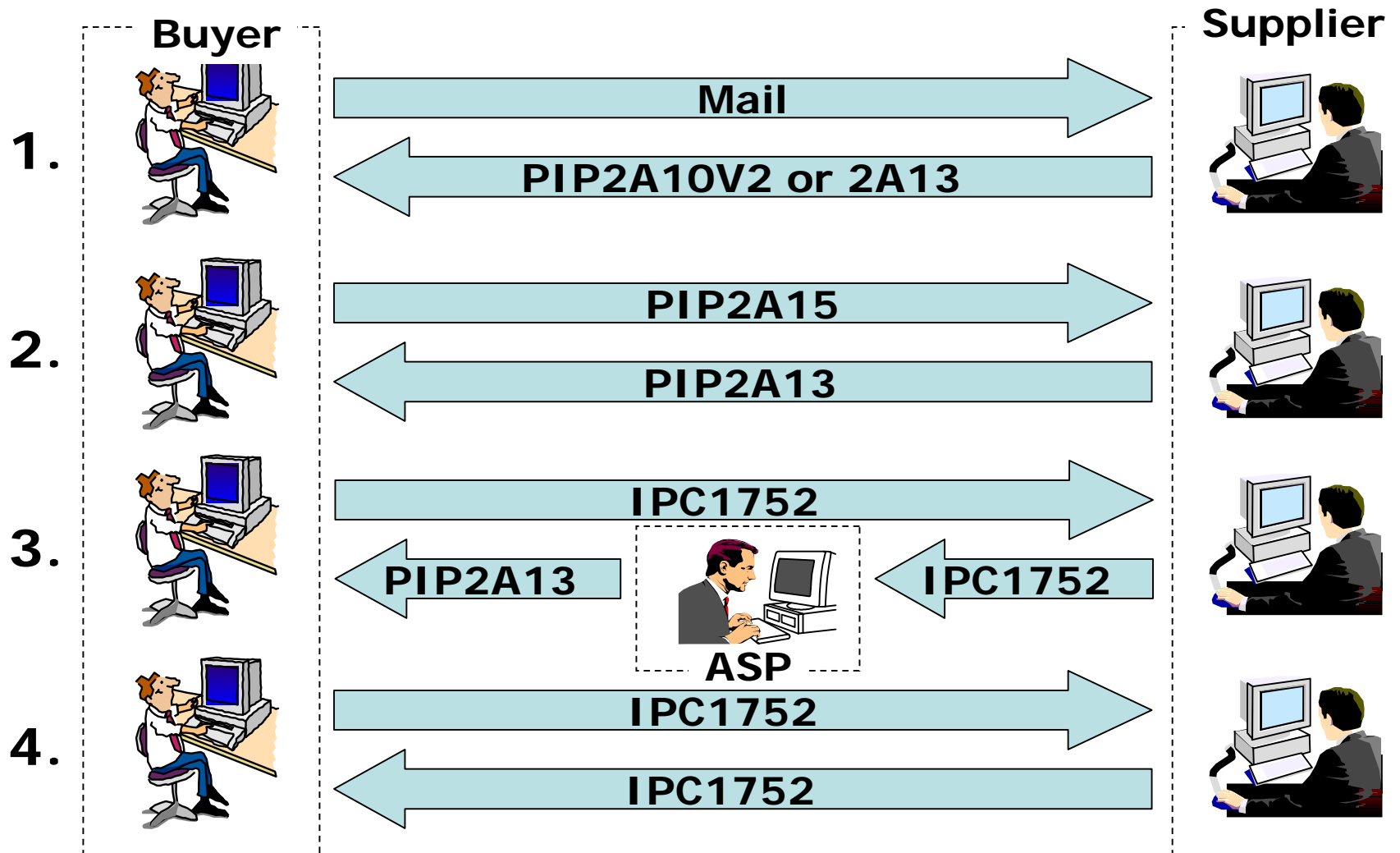
2. 2006年度活動計画

(2) 2006年度の活動スケジュール

	2006										2007		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 実装プロモーション ・PIP実装 ・ガイドライン作成 ・モデル検討 ・IPC1752日本語化	準備		Validation				In Production				(30社目標)		
			モデル検討		ガイドライン作成				まとめ				
	翻訳	ツール		IPC Webにて公開 (& プレスリリース)									
													動向調査(随時)
2. コンプライアンス													
3. 他団体との協調													
4. 情報発信													
	☆ GPC	😊 JPCAショー講演								☀ ワークショップ			
(WG開催予定日)	4/4	5/9	6/6	7/4	8/1	9/5	10/3	11/7	12/5	1/16	2/6	3/6	

3. 2006年度活動計画(補足)

(1) 実装プロモーション ~ 環境PIP®を使用した情報交換



バイヤがデータをDBに直結する場合の例 (紙やファイルでの入手は除く)



3 . 2006年度活動計画(補足)

(2) コンプライアンス ~ 環境に関する様々な法令



【EU】

- ・ELV
- ・RoHS
- ・WEEE
- ・EuP
- ・REACH

【中国】

- ・電子情報産品汚染防治管理弁法(中国版RoHS)
- ・廃旧家電及び電子産品回収処理体系条例(中国版WEEE)

【韓国】

有害化学物質管理法

【日本】

新JIS (J-MOSS)

【米国】

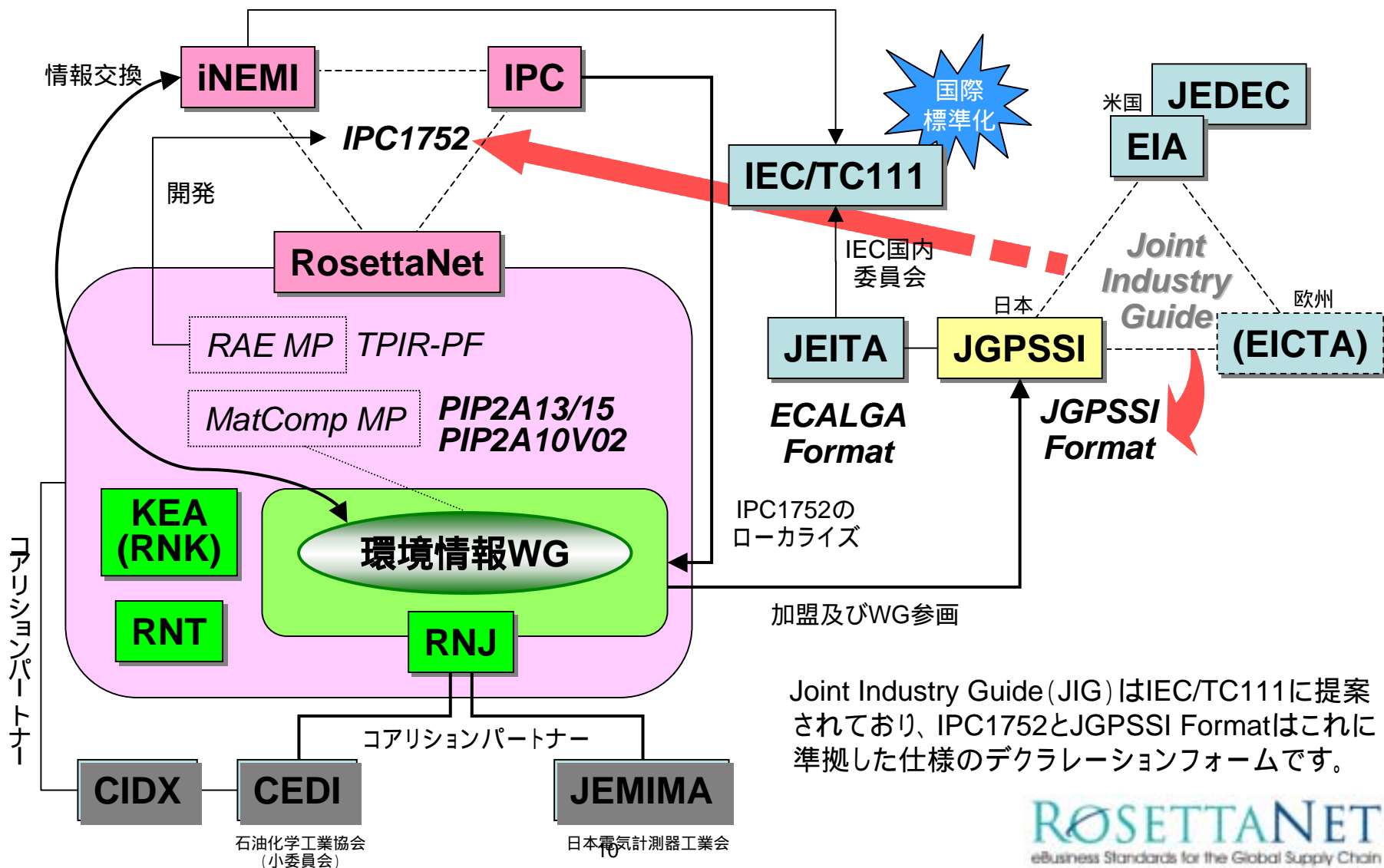
- ・プロポジション65
- ・水銀規制
- ・SB20(加州・電子機器製品リサイクル法)

【World Wide】

- ・IEC/TC111
 - 製品含有物質等開示手順(WG1)
 - 環境配慮設計(WG2)
 - 特定含有物質試験方法(WG3)

3. 2006年度活動計画(補足)

(3) 他団体との協調 ~ 環境関連団体との関係



3 . 2006年度活動計画(補足)

(4) 情報発信 ~ 環境情報お助けサイト

<http://www.rosettanet.gr.jp/bizPromotion/environment/index.html>



環境情報
お助けサイト

コンプライアンス
WEEE/RoHS、ELV、REACH、EuP、Packaging、Batteries、総合...

- 調査物質情報
- JIG、GADSL
- マテリアルデklarレーションフォーマット
- IPC1752、JGPSSI
- 他団体・組織の情報や動向
- 報告書、プレゼンテーション資料
- データマッピング
- JIG - JGPSSI - RNTD比較表
- 環境関連のロゼッタネット標準(PIP、辞書、ガイドライン等)
- PIP、RosettaNet辞書、RIG、参考資料
- リンク集
- 業界・企業、環境全般、環境マネジメントシステム、メディア、書籍紹介、その他

コンプライアンス

- ▶ WEEE/RoHS
- ▶ ELV
- ▶ REACH
- ▶ EuP
- ▶ Packaging
- ▶ Batteries
- ▶ 総合

WEEE/RoHS

公布: 2003年1月
施行: 2006年7月
対象: 一般電気・電子機器・除外リストあり

内容の概略は指令(2)に示されていますが、対象の物質の関連、適用対象、除外対象などの詳細はTAC(技術対策委員会)(4)で審議進行中です。このためTACの動向や加盟国の詳細解説によって情報を補う必要があります。DTI(英国貿易産業省)のガイダンスノート(6)は関係者の多くが理解の助けになっている文書です。

No.	テーマ	資料内容/説明	言語	リンク
(1)	WEEE指令	2002/96/EC 原文	英	PDF
(2)	RoHS指令	2002/95/EC 原文	英	PDF
(3)	WEEE/RoHS指令	シートAによる和訳	日	PDF
(4)	TAC情報	DTIによる非公式TAC	英	HTML
(5)	除外申請	インターネットコンサルテーション意見書	英	HTML
		除外申請詳細レポート(ERA Dec. 2004)	英	PDF
(6)	ガイダンスノート	DTIによる英国向けガイダンス(2005年8月版)	英	PDF
		DTIによる英国向けガイダンス(2004年7月版)	英	PDF
		RosettaNet Japanによる和訳(2004年7月版)	日	PDF
(7)	FAQ	EUのWEEE/RoHSFAQ集	英	PDF
(8)	その他	RoHSコンプライアンス報告(ERA, 2004)	英	PDF
		シートB発行 ユーロプレス2005年2月/RoHS解説	日	HTML
		UK民間Website (Compliance Club)	日	HTML





4 . 2005年度成果と2006年度計画まとめ

2006年度は実装に注力！

2005年度成果

1. 実装プロモーション

- ・PIP2A13 / 2A15構造解析
- ・PIP2A13実装
- ・各種データモデル比較
- ・IPC1752ローカライズ着手

2. コンプライアンス

- ・国内外の法規制・国際標準化動向調査
- ・DTIガイダンスノート和訳

3. 他団体との協調

- ・IPCに対するIPC1752ドラフト版修正提案
- ・JGPSSI加盟並びにWGへの参画
- ・他団体との情報交換 (iNEMI 等)
- ・CEDI, JEMIMAのコアリションパートナー化

4. 情報発信

- ・Workshop (10/25)、小報告会 (1/12) 開催
- ・セミナー講演 (5回)
- ・「環境情報お助けサイト」* 開設

2006年度計画

1. 実装プロモーション

- ・PIP実装拡大 (目標30社)
- ・実装ガイドライン作成
- ・IPC1752日本語版リリース
- ・データモデル検討

2. コンプライアンス

- ・国内外の法規制・国際標準化動向調査

3. 他団体との協調

- ・JGPSSI、iNEMI/IPC等との連携
- ・川上～川下業界との情報交換

4. 情報発信

- ・ワークショップ企画
- ・セミナー講演
- ・プレスリリース
- ・「環境情報お助けサイト」からの情報発信

* : <http://www.rosettanet.gr.jp/bizPromotion/environment/index.html>

5 . 参考資料

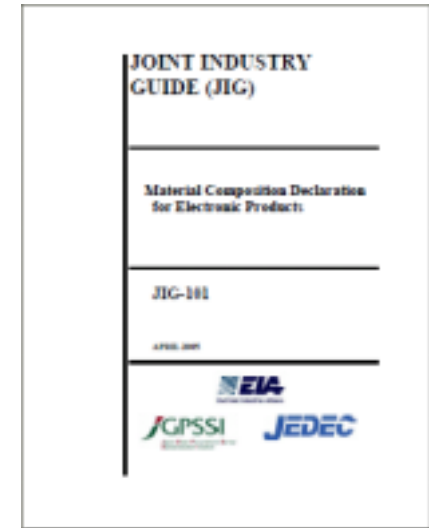
JIGに準拠した2つの含有物質調査フォーマット

1) JGPSSI Format

- JGPSSIにて開発
- Excelベースのファイル形式
- 標準型と詳細型で構成される
- Rolled Format前提 製品内の化学物質(群)のみ
- 前のバージョンで既に運用中であるが、新JIG準拠に対応したフォーマット(Ver.3)を、1/13にリリース

2) IPC-1752

- iNEMI , IPC , RosettaNetにて開発
- PDF形式(Ver.7.0) XML(PIP2A13)
- IPC-1752-1/1752-2で構成される
- Full Format対応 BOMレベルの記述が可能
- 2006/春にリリース予定。その後、ANSIを通して、公式リリース。
- TC111 WG1にて米国が提案



2005/5/25に発行



...Companies supporting the development and/or use of the IPC-1752 standard include Celestica, Cisco Systems, Delphi Corporation, Foxconn, Freescale Semiconductor, Intel Corporation, Maxtor, Sun Microsystems, Teradyne Connections Systems and Texas Instruments... (2005/4/19に行われたiNEMI , IPC , RosettaNetの共同プレスリリースからの抜粋)



ROSETTANET

eBusiness Standards for the Global Supply Chain

<http://www.rosettanet.org>

<http://www.rosettanet.gr.jp>

ロゼッタネットジャパン事務局

e-mail: rnj-contact@rosettanet.gr.jp

Tel: +81-3-5245-1079 Fax: +81-3-5245-7517

ROSETTANET
eBusiness Standards for the Global Supply Chain